



# 子どもや高齢者の視点から安全点検

市では、安心・安全なまちづくりを推進するため、セーフコミュニティ及びセーフスクールの国際認証取得事業を行っています。その一環として、9月6日(土)、花の木小学校、南小学校周辺で、交通事故や犯罪等の危険箇所を確認する安全点検を行いました。



歩きながら点検

今回は、明治大学理工学部(山本俊哉教授)や科学警察研究所のご協力をいただき、児童や保護者、教職員、セーフコミュニティ対策委員会のメンバーら多くの市民が参加しました。

参加者は、徒歩のほか自転車や車いすの班に分かれて、まちなかを巡って、それぞれの視点で危険箇所を点検しました。デジタルカメラ、録音機、GPS受信機を使うことで簡単に危険箇所を記録し、そのデータを利用して、地域安全マップを作成

しました。参加者からは、危険箇所や注意箇所を簡単に視覚化することができた。車いす用のスロープが設置されていても幅が狭くて転回することができない。様々な年代の方と一緒に行ったので、お互いの意見を聞けて有意義だった。

など多くの意見や感想が出されました。さまざまな立場から、実際にまちを歩いて点検することで、普段は何気なく見過ごしている危険に気がつくことができました。また、マップ化することで、情報を共有することの大切さを学ぶ機会にもなりました。今後は、作成した地域安全マップを活用して、事故防止に役立てていきたいと考えています。

問 危機管理課 22-2206



検討会の様子